

# 臨床看護学講座

| 【教育】           |   |
|----------------|---|
| 1. 到達目標        | <p>【成人看護学（急性期）】学部教育では、健康問題を抱える成人の病期に応じた看護が展開できる基礎的な実践能力の育成を目標とする。大学院教育では、医療依存度の高い療養者とその家族への入院中から在宅療養中までの看護に関わる研究ができる研究者・実践家の育成を目標とする。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】がん・慢性疾患患者のQOL、セルフマネジメント、心理社会的な課題を理解し、看護介入を検討し評価できる力を育成する。</p> <p>【高齢者看護学】学部教育では、加齢による身体・心理・社会的変化を理解し、ライフサイクル最終段階にある高齢者の倫理的課題、生活機能の維持・向上、認知症の看護等、高齢患者に必要な幅広い看護実践能力の育成を目標とする。大学院では、高齢患者の看護の向上に寄与できる高度専門職業人、教育研究者の育成を目標とする。</p> <p>【小児看護学】小児看護に関する基礎能力を有する看護学教育・研究者、高度専門職業人を育成する。</p> <p>【母性看護学】学部教育では、子どもが健やかに生まれ育っていく基盤である妊娠・出産・育児に焦点をあて、その支援を習得し、女性の各ライフステージにおける健康の諸問題を理解し、実践できる力を育成する。助産師コースでは、女性の性と生殖に関わる権利を学び、高度な助産診断と実践能力の育成を目標とする。大学院教育では、母子看護学に関する研究主題を明確にし、論理的かつ体系的に研究を遂行する力を育成する。</p> <p>【精神看護学】メンタルヘルス上の問題の予防、早期発見、治療、リハビリを理解し、メンタルヘルスに問題を抱える人々に適した援助を行うことができる。</p>   |
| 2. 現状説明        | <p>【成人看護学（急性期）】教授、助教の2名が附属病院看護部の方々のご協力のもと、広範囲にわたる内容を講義、演習、実習等で教育している。大学院においては、前期課程1名、後期課程4名の学生が在籍し、2023年3月に博士（看護学）取得者1名を輩出した。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】准教授、助教の2名が附属病院の専門看護師・認定看護師と共に慢性疾患患者への看護について実践事例を踏まえながら、講義、演習、実習の教育している。</p> <p>【高齢者看護学】前期は教授1名・本研究科看護学専攻博士後期課程在学生のAAが1名、後期は、教授1・助教1の2名の教員、ならびに、附属病院看護部、学外実習病院の協力のもと、講義・演習・実習教育を実施した。大学院では、老人看護CNS課程の学生が1名、博士後期課程の学生が1名修了した。また、博士後期課程修了生2名が、博士論文の学会発表において、各々学会賞を受賞した。</p> <p>【小児看護学】昨年度は1名の学生が修士の学位を取得し、同時に専門看護師教育課程を修了した。今後、小児専門看護師取得に向けて実績を積む予定である。また、1名の修了生が小児看護専門看護師の認定を受けた。修了生の学会発表演題が最優秀演題賞を受賞した。</p> <p>【母性看護学】学部教育では、3名の教員で、母性看護学と助産学を担当した。附属病院、助産院、医学科の非常勤講師による講義も継続できた。大学院教育では、5名の学生の指導を行った。2名の学生は、在学中に国際学会で発表した。また、2022年3月修了生1名の論文が受理された。</p> <p>【精神看護学】メンタルヘルス上の問題の予防、早期発見、治療、リハビリを理解し、メンタルヘルスに問題を抱える人々に適した援助を行うことができるよう、講義、演習、実習などで教育している。</p> |
| 3. 点検・評価       | <p>【成人看護学（急性期）】学士（看護学）の実践能力を有する看護職者の育成に努め、看護師国家試験100%合格を達成した。令和4年度は1名が大学院看護学専攻後期課程を修了した。国際学会での研究発表が3名、修士論文の学会賞受賞者1名であった。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】看護師国家試験100%合格。卒業研究生4名が国内地方学会で発表できた。</p> <p>【高齢者看護学】看護師国家試験100%合格を達成。老人看護CNSとして活動する2名の修了生の協力を得て、博士前期課程における高度専門職業人教育の充実に努力した。博士後期課程では、高齢期およびがん患者の健康関連QOLに関する研究の促進に努力した。【小児看護学】小児領域の教育研究者や高度専門職業人を着実に育成している。</p> <p>【母性看護学】国家試験看護師、助産師100%合格。修了生全員が論文を公表することができた。修士の学生が国際学会に発表できた。</p> <p>【精神看護学】4年生の統合特別試験や客観的看護実践能力試験で、メンタルヘルスに問題を抱える人々に適した援助を行うことができるかどうかを評価している。</p>   |
| 4. 目標・改善方策の達成度 | <p>【成人看護学（急性期）】目標はほぼ達成できており今後も継続する。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】おおむね達成している。</p> <p>【高齢者看護学】目標は達成できており、今後も継続する。</p> <p>【小児看護学】良好に目標を達成しており、今後も継続する。</p> <p>【母性看護学】達成。今後も継続する。</p> <p>【精神看護学】おおむね達成している。</p>   |
| 【研究】           |   |
| 1. 到達目標        | <p>【成人看護学（急性期）】外部資金を獲得し研究活動を継続する。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】外部資金を獲得し研究活動を継続する。</p> <p>【高齢者看護学】外部資金を獲得し、研究成果の公表に努める。</p> <p>【小児看護学】外部資金を獲得し、研究活動を継続する。</p> <p>【母性看護学】外部資金を獲得し、研究成果の公表に努める。共同研究を実施する。</p> <p>【精神看護学】教員がそれぞれの専門性を活かし、メンタルヘルスに関わる様々な問題を改善することに努める。</p>   |

|                |  |
|----------------|--|
| 2. 現状説明        | <p>【成人看護学（急性期）】在宅療養高齢者へのアドバンス・ケア・プランニングの推進、生活保護受給者への禁煙支援に関する研究を実施している。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】臓器がん患者のQOL、サバイバーシップ支援に関する研究、股関節骨頭置換術患者のセルフマネジメントに関する研究を実施している。</p> <p>【高齢者看護学】所属学会のプロジェクトリーダーとして、学会活動の促進に取り組んだ。また、医学部研究推進会議（1月）において、看護学専攻博士課程修了生、医学部診療部門との共同研究について成果報告を行った。学外では、国際学会、国内学会で4題の研究研究成果を公表した。</p> <p>【小児看護学】小児看護学を担当する2名が科学研究費を獲得しており、今年度は原著論文を2本、学会発表を4本公表した。また、研究会での基調講演を1回行った。</p> <p>【母性看護学】外部資金を獲得し、論文4本、国際学会で4本発表した。多施設共同コホート研究のリクルートが順調に行えた。</p> <p>【精神看護学】教員がそれぞれの専門性を活かし、メンタルに関わる様々な問題に取り組んでいる。</p> |
| 3. 点検・評価       | <p>【成人看護学（急性期）】教員2名が科研費を獲得し、令和4年度は論文2編が掲載となった。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】科研費補助金を獲得し、成果を学会発表や論文で報告している。</p> <p>【高齢者看護学】外部資金は、学外研究者が代表する科研費の分担研究費の配分を受けた。看護学専攻博士課程修了者の研究成果公表については、国際学会発表1題、国内学会発表3題行い、うち2題が学会賞を受賞することができた。</p> <p>【小児看護学】外部資金の獲得はできており、成果も公表できた。</p> <p>【母性看護学】教員1名が科研費を獲得した。論文、国際学会で成果発表できた。多施設共同コホート研究のリクルートが順調に行えた。</p> <p>【精神看護学】それぞれの教員がメンタルヘルスに関わる様々な問題に取り組み、精神の健康に関する専門学会で学会発表や論文で成果を報告している。</p>   |
| 4. 目標・改善方策の達成度 | <p>【成人看護学（急性期）】研究の進捗がやや遅れているが、研究方法を一部変更するなど対応している。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】次年度は論文投稿による成果報告を行う。</p> <p>【高齢者看護学】ほぼ達成。外部資金の獲得に努力し、研究を継続し公表に努める。</p> <p>【小児看護学】次年度も継続して成果を公表したい。</p> <p>【母性看護学】達成。論文in press 1本が今後公表の予定である。</p> <p>【精神看護学】おおむね達成している。</p>   |
| <b>【社会貢献】</b>  |  |
| 1. 到達目標        | <p>【成人看護学（急性期）】人生の最終段階にある人々への質の高いエンドオブライフケア、禁煙支援など、地域住民や保健医療従事者への教育支援を行い、人々の健康とQOLの維持向上に貢献できることを目指している。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】やまがたピンクリボン運動を通して、乳がん検診の啓発・がんサバイバーの活動を支援する。</p> <p>【高齢者看護学】県内公立病院の看護研究指導を通し、臨床看護研究を促進する。高齢者の看護・介護の向上に寄与する普及・啓発活動に取り組む。</p> <p>【小児看護学】小児に関する学会等で役割を果たし、小児看護研究の推進に貢献する。地域の小児看護に関する講義や講師を継続的に行的看護実践に貢献する。</p> <p>【母性看護学】母子に対する切れ目ない支援とその方策を検討し、母子保健に貢献する。</p> <p>【精神看護学】教員がそれぞれの専門性を活かし、社会・地域・地域の人々の健康や生活を支援する活動とその組織づくりに貢献する。</p>  |
| 2. 現状説明        | <p>【成人看護学（急性期）】関連学会での役割等を果たし研究の推進に貢献している。有志でのオンラインセミナーの講師やファシリテーターを務めた。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】山形県看護学会委員、やまがたピンクリボン実行委員として役割を果たした。山形県看護協会や山形県医師会在宅医療・介護連携室の研修会で講師を務めた。</p> <p>【高齢者看護学】県内公立病院の看護研究指導を通し、7題の臨床看護研究指導に取り組んだ。</p> <p>【小児看護学】各種学会の査読委員として役割を果たした。また、大学の非常勤講師を行ったり、地域の研修会で講師を務めた。</p> <p>【母性看護学】地域の助産師とともに、オンライン母親教室を企画し、年間500組の妊婦とその家族が参加した。</p> <p>【精神看護学】教員がそれぞれの専門性を活かし、山形市や山形県の事業を通じて地域の人々の健康や生活を支援する活動している。</p>  |
| 3. 点検・評価       | <p>【成人看護学（急性期）】学会や地域での教育活動を通して社会貢献できている。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】山形県看護学会開催や地域の教育活動では参加者から満足度の高い評価を得た。がん検診啓発活動を通して社会貢献できている。</p> <p>【高齢者看護学】学会活動、地域の教育活動を通し社会貢献できている。</p> <p>【小児看護学】学会活動や地域の教育活動を通して社会貢献できている。</p> <p>【母性看護学】オンライン母親教室に参加した妊産婦とその家族から、満足度の高い評価を得た。</p> <p>【精神看護学】社会・地域・地域の人々の健康や生活を支援する活動を行っている。</p>   |
| 4. 目標・改善方策の達成度 | <p>【成人看護学（急性期）】ほぼ目標達成しており今後も継続する。</p> <p>【成人看護学（慢性期）】達成できているので、今後も継続する。</p> <p>【高齢者看護学】ほぼ達成している。</p> <p>【小児看護学】ほぼ目標を達成している。</p> <p>【母性看護学】COVID-19の感染拡大予防により、地域での直接的な活動が難しい中、オンラインを使って、母親教室を企画し、地域母子保健に貢献できたことから、概ね達成。</p> <p>【精神看護学】おおむね達成できている。</p>  |

臨床看護学講座

| 業績分類    | 査読      | 著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等  | 論題・章題・演題・学会賞名 等  | 掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID<br>学会名・開催地・年月 等   | Impact Factor<br>・ JIF QUARTILE<br>(2021) | 刊行状況   | 研究情報備考 |
|---------|---------|--|--|---|---|--------|--------|
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 柴田愛、藤田愛、山口咲奈枝、吉村桃果   | COVID-19感染拡大時期を過ぎた妊娠中期の妊婦の口腔衛生行動と歯周病自覚症状   | 日本助産学会誌. 2022年6月;vol36(1):129-136.  |   |        | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 藤田愛、山口咲奈枝  | Food Behavior Checklist日本語版の作成の試み—表面妥当性の検証—  | 母性衛生. 2022年4月;Vol63(1):243-249.   |   |        | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 山口咲奈枝、藤田愛、遠藤由美子  | 新型コロナウイルス感染症拡大下における父親の保健指導参加状況と父親が医療者に求める保健指導の実態   | 母性衛生. 2022年4月;Vol63(1):72-80.   |   |        | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 浅野志保、古瀬みどり   | 認定・専門看護師の終末期がん患者の家族間の対話支援の実際   | 北日本看護学会誌. 2023年2月; 25(2)、7-17   |   |        | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 鈴木慈子、古瀬みどり   | 一般病棟に勤務する看護師の患者・家族とのコミュニケーションにおける曖昧さへの態度および感情対処傾向と終末期ケアへの態度との関連  | Palliative Care Research. 2023年3月; 18(1)、79-87  |   | E Only | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 今田志保、佐藤幸子  | 発達障害児の学校健康診断における養護教諭の困難感と説明用ツールに関するニーズ調査   | 小児保健研究, 2022年3月; 81(2): 169-176   |   |        |        |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 今田志保、佐藤幸子、佐々木るみ子、今陽子、五十嵐誌保   | 小児がんで腰椎穿刺・骨髄穿刺を繰り返し受けた幼児の対処行動の実際(第一報)  | 日本小児看護学会誌, 2022年11月; 31: 234-241  |   |        |        |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 Yuko Minami, Minoru Miyashita; Takanori Ishida; Megumi Fujita; Hiroataka Hamada; Masatoshi Saito; Takahiro Arima; Nobuo Yaegashi; the Japan Environment and Children's Study Group | Maternal lifestyle and nutrient intakes during pregnancy and exclusive breastfeeding in relation to risk factors for breast cancer: The Japan Environment and Children's Study | Preventive Medicine. 2023Feb; 168; 107466. PMID: 36775206   | IF=4.02, Q2                               |        | B      |
| 1. 論文   | (1)原著   | 査読有 齋藤深雪、吾妻知美  | 学生用生活機能評価尺度(活動面)の妥当性と信頼性   | 日本健康医学会雑誌. 2022年7月; 31(2): 244-249  |   |        | B      |
| 2. 学会報告 | (1)国際学会 | iii 一般演題 査読有 Suzuki C, Furuse M  | Nurses' attitudes towards ambiguity and end-of-life care and their relationship to emotional coping strategies in relationships with patients and families                     | 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference; Taiwan, April, 2022                                     |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1)国際学会 | iii 一般演題 査読有 Toukairin M, Furuse M, Kobayashi A  | * The actual condition of visiting nurses' perceived difficulties in home-based nursing care practical training  | 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference; Taiwan, April, 2022                                     |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1)国際学会 | iii 一般演題 査読有 Toukairin M, Furuse M, Kobayashi A  | * Relationship between difficulties in home-based nursing training guidance and the position, educational role, and training guidance experience of visiting nurses            | The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science; Taipei, October, 2022. |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1)国際学会 | iii 一般演題 査読有 Asano S, Furuse M   | Development of the nurses' self-assessment scale to enhance dialogue support between terminally ill cancer patients and their families   | 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference; Tokyo, March, 2023                                      |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1)国際学会 | iii 一般演題 査読有 Nishimura Y, Furuse M   | Concept analysis of self-management during conservative treatment in hip osteoarthritis patients   | 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference; Tokyo, March, 2023                                      |   |        |        |

| 業績分類    |          |                                     | 査読  | 著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等   | 論題・章題・演題・学会賞名 等  | 掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID<br>学会名・開催地・年月 等  | Impact Factor<br>・ JIF QUARTILE<br>(2021) | 刊行状況   | 研究情報備考 |
|---------|----------|-------------------------------------|-----|---|--|--|---|--------|--------|
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Kawaguchi K, Sato W   | Quality of life and satisfaction after robot-assisted radical prostatectomy  | 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference ; Tokyo, March, 2023                  |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Ai shibata, Megumi Fujita, Sanae Yamaguchi, Momoka Yoshimura, Runa Sato   | Factors that influence the increase of prevotella intermedia and porphyromonas gingivalis in the saliva of pregnant women                              | EAFONS2022, 台湾 ; 2022年4月   |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Tomomi Ohyama, Moeko Tanaka, Riko Ohori, Satoko Aoyama, Kaori Yonezawa, Emi Sasagawa, Yuriko Usui, Megumi Fujita, Masayo Matsuzaki, Mie Shiraishi, Naoko Hikita, Yoshiko Suetsugu, Megumi Haruna  | Trends and characteristics of physical activity during pregnancy under the COVID-19 Pandemic in Japan: the observational study                         | ASPA2022, メルボルン ; 2022年11月   |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Moeko Tanaka, Tomomi Ohyama, Riko Ohori, Satoko Aoyama, Kaori Yonezawa, Emi Sasagawa, Yuriko Usui, Megumi Fujita, Masayo Matsuzaki, Mie Shiraishi, Naoko Hikita, Yoshiko Suetsugu, Megumi Haruna, | Exercise and leisure time activities among pregnant women under the COVID-19 Pandemic in Japan   | ASPA2022, メルボルン ; 2022年11月   |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Miharu Suzuki, Megumi Fujita, Risako Honma, Miharu Tezuka   | Attitudes toward vaccination among the HPV catch-up population: An observational cross-sectional study   | EAFONS2023, 東京 ; 2023年3月   |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (1) 国際学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Miyuki Saito  | Assertiveness of employment support facility users in Japan.   | 26th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference, Tokyo-Japan ; March, 2023            |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 | 査読有 | 内田久仁子、苅込利衣、今野郁子、齊藤圭子、瀬在泉、高畑裕美、藤本恵子、松浪容子、山本香世、横路聖加   | ナース委員会セミナー コロナ禍でも禁煙支援を止めない！ 経験談を共有し明日からの現場で活かそう 第2部「みんなで話そう！」今、私たちの行う禁煙支援  | 第16回日本禁煙学会学術総会, 大阪 ; 2022年10月  |   |        | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等 | 査読有 | 松浪容子、古瀬みどり  | ミニシンポジウム 禁煙支援の最前線 福祉事務所現業員における生活保護受給者への禁煙支援に関するツールの有効性の検討  | 第16回日本禁煙学会学術総会, 大阪 ; 2022年10月  |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | 浅野志保、古瀬みどり  | 終末期がん患者と家族間の対話支援について熟練看護師が語った事例の特徴—「良かったと感じた事例」と「後悔が残ると感じた事例」の分析—  | 第24回北日本看護学会学術集会 ; 山形、2022年9月   |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | Shiho Asano, Midori Furuse  | Examination of the content validity of nurses' self-assessment scale for supporting dialogue between terminally ill cancer patients and their families | The 42nd Annual Conference of Japan Academy of Nursing Science ; Hiroshima, December, 2022 |   | E Only | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | 松浪容子、古瀬みどり  | 福祉事務所に勤務する生活保護現業員の禁煙治療に関する研修ニーズ  | 第16回日本禁煙学会学術総会, 大阪 ; 2022年10月  |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | 武田洋子, 佐藤和佳子   | 化学療法を受けている膵臓がん患者の健康関連 Quality of lifeの特徴と栄養に関連する指標・食の苦悩の実態との関連   | 第37回日本がん看護学会学術集会, 横浜 ; 2023年2月   |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会 | iii 一般演題                            | 査読有 | 田中 真莉恵, 牛島 正毅, 天野 緑, 佐藤 啓, 土谷 順彦, 佐藤 和佳子  | * 重粒子線治療前に内分泌療法を行う前立腺がん患者の身体活動量とQuality of lifeの実態、日本癌治療学会メディカルスタッフアワード賞受賞   | 第60回日本癌治療学会, 神戸、2022年10月   |   |        | B      |

| 業績分類    |           |                  | 査読  | 著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等                  | 論題・章題・演題・学会賞名 等   | 掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID<br>学会名・開催地・年月 等                    | Impact Factor<br>・ JIF QUARTILE<br>(2021) | 刊行状況   | 研究情報備考 |
|---------|-----------|------------------|-----|--------------------------------------|---|--|---|--------|--------|
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 川口寛介, 佐藤和佳子                          | ロボット支援前立腺全摘除術後1年間の尿失禁回数およびパッド枚数の実態とQOLとの関連. 第42回日本看護科学学会学術集会 優秀演題ポスター発表受賞 | 第42回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2022年12月                       |   | E Only |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 佐藤幸子, 塩飽仁, 遠藤芳子, 今田志保                | 小児看護専門看護師が子どもの意思決定を支援するプロセス   | 日本小児看護学会第32回学術集会, 福岡; 2022年7月                        |   |        | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 西塚佳奈, 佐藤幸子, 今田志保                     | 小児がん経験者の退院後の日常生活上の困りごとや不快感の検討   | 日本小児看護学会第32回学術集会, 福岡; 2022年7月                        |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 高橋育子, 佐藤幸子, 今田志保, 本間恵美               | 乳児を対象とした看護職のスキンケア指導の実態に関する検討  | 第38回日本小児臨床アレルギー学会, 東京, 2022年7月                       |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 五十嵐誌保, 佐藤幸子, 今田志保, 佐々木のみ子, 高橋聡美, 今陽子 | 色素性乾皮症の姉妹とその家族に対する多職種連携での在宅移行支援   | 日本家族看護学会第29回学術集会, 福岡; 2022年9月                        |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 青山紗都子, 春名めぐみ, 藤田愛, 松崎政代, 白石三恵        | 妊娠中の過少な母体体重増加と女性自身の目標設定や医療者の助言との関連「前向き多施設コホート研究                           | 産前産後ケア子育て支援学会, 東京; 2023年3月                           |   |        | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 手塚美春, 森鍵祐子, 赤間由美                     | * 母子健康手帳交付場面におけるSERVQUALに基づくサービス品質の測定方法の検討                                | 第24回北日本看護学会学術集会, Web開催, 2022年9月                      |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 齋藤深雪, 吾妻知美                           | 学生用生活機能評価尺度(参加面)の妥当性と信頼性.   | 第31回日本健康医学会総会, 世田谷区; 2022年11月                        |   |        | B      |
| 2. 学会報告 | (2) 国内学会  | iii 一般演題         | 査読有 | 齋藤深雪, 加藤真理子                          | 精神科デイケア利用者の生活機能を高めるために取り組んでいる生活支援   | 第42回日本看護科学学会学術集会, 広島市; 2022年12月                      |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (3) 国内地方会 | iii 一般演題         | 査読無 | 藤田愛, 手塚美春, 鈴木美春                      | COVID-19感染症流行下で開催されたオンライン母親教室に参加した妊婦の思い                                   | 第45回山形県母性衛生学会, 山形; 2022年11月                          |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (3) 国内地方会 | iii 一般演題         | 査読有 | 小山未来, 西村結花, 武田洋子                     | プレスト・アウェアネスに影響を与える要因に関する文献検討  | 第49回山形公衆衛生学会, 山形; 2023年3月                            |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (3) 国内地方会 | iii 一般演題         | 査読有 | 前島あやの, 西村結花, 武田洋子                    | がん患者に対するマインドフルネスの臨床介入の評価に関する文献検討  | 第49回山形公衆衛生学会, 山形; 2023年3月                            |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (3) 国内地方会 | iii 一般演題         | 査読有 | 松川春乃, 西村結花, 武田洋子                     | 膵がん患者のspiritual well-beingに関する文献検討  | 第49回山形公衆衛生学会, 山形; 2023年3月                            |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (3) 国内地方会 | iii 一般演題         | 査読有 | 鈴木紅音, 西村結花, 武田洋子                     | 女性がんサバイバーの働き方と支援に関する文献検討  | 第49回山形公衆衛生学会, 山形; 2023年3月                            |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (4) 研究会   | i 特別講演・招待講演・会長講演 |     | 今田志保                                 | ブレパレーションの概要と臨床での取り組み  | 第26回全国国立大学放射線技師会オータムセミナー, 山形; 2022年11月               |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (5) その他   |                  |     | 武田洋子                                 | はじめてみよう看護研究—文献検索と文献の見方  | 山形県看護協会研修会, 山形; 2022年7月                              |   |        |        |
| 2. 学会報告 | (5) その他   |                  |     | 武田洋子                                 | アドバンスケアプランニングと意思決定支援PART1各論1 協同的意思決定支援                                    | 山形市医師会在宅医療・介護連携室ポピー研修会, 山形; 2022年9月27日~10月17日オンライン配信 |   |        |        |

| 業績分類       | 査読 | 著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等 | 論題・章題・演題・学会賞名 等   | 掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID<br>学会名・開催地・年月 等 | Impact Factor<br>・ JIF QUARTILE<br>(2021) | 刊行状況 | 研究情報備考 |
|------------|----|---------------------|---|-----------------------------------|---|------|--------|
| 5. 学会等での受賞 |    | 浅野志保、古瀬みどり          | 日本家族看護学会研究奨励賞（受賞論文：がん終末期の妻と死別して独居になった高齢男性の新たな日常性構築プロセス。家族看護学研究 26(1)、14-24) |                                   |   |      |        |
| 5. 学会等での受賞 |    | 高橋育子、佐藤幸子、今田志保、本間恵美 | 最優秀演題賞受賞：乳児を対象とした看護職のスキンケア指導の実態に関する検討                                       | 第38回日本小児臨床アレルギー学会、2022年           |   |      |        |